

## 二宮小学校における校内研究プロジェクト

小学校でも2学期に入ってから、各校において校内研究プロジェクトが本格的に始まっています。10月9日(木)に二宮小学校にて校内授業研究会が行われました。2学年を担当する先生方がより良い授業実践に向けて話し合いとプレ授業を重ねてきました。

2年1組の担任である高野直樹先生が国語の研究授業(教材名:お手紙)を行いました。児童たちは、自主的に授業前からグループごとに物語の音読(役割読み)に取り組んでいました。先生は前回の授業の確認を行った後、『かえるくんは、どんなかえるなのでしょう。』という今日の授業の学習課題を黒板に明記しました。さらに、先生は場面を想起しやすくするために挿絵を活用し、かえるくんの言動を基に考えるようにアドバイスをしました。

児童たちはワークシートに自分の考えを記述した後、隣や近くの友達と意見交換を行いました。さらにその後、児童は自席に戻り、自分の考えを積極的に発言しました。先生は自分の考えの根拠となる文を付けて発言するように助言するとともに、先生はかえるくんの人物像だけではなく、それをしっかりと黒板に記述していました。授業のまとめとして先生は、授業の始まりと終わりを比較し、自分なりのかえるくんの人物像の捉えを大切に、それをワークシートに記述するよう児童に伝えました。

今年度、二宮小学校は『自ら進んで学び続ける子どもを目指して ~どの子ども「分かった、できた、楽しい」を実感する授業づくり~』を研究テーマに研究を重ねています。

授業後、すべての教員が一同に会し、グループごとに研究授業を振り返りました。先生方は、『子どもたちは、分かる・できる楽しさを味わっていたか』および『分かる・できる楽しさを味わわせるための工夫・改善について』の2つについて意見交換と協議を行いました。その後、校内研究の講師である横浜国立大学教職大学院教育学研究科高度教育実践専攻教授の青木弘先生より指導講評をいただきました。

青木先生からは、研究テーマを実現していくためには、まずは教師自身が進んで学び続けること、毎日分かった・できたを体験すること、毎日が楽しいを実感することが何よりも大切であり有効であるという助言をいただきました。さらに、授業改善の指針として『未来を生きる子どもたちのためには、「どんな子」の育成を目指すのか』をしっかりと捉えることであり、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現のためには、教師自身の主体的・対話的で深い学びが必要である等のアドバイスをいただきました。青木先生ありがとうございました。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

研究会に取り組む二宮小学校の先生方の姿には、今後も子どもたちと共に学び続け、教師として成長していこうとする前向きさを感じました。・・・すべては「にのみや学園の子どもたち」のために・・・

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

